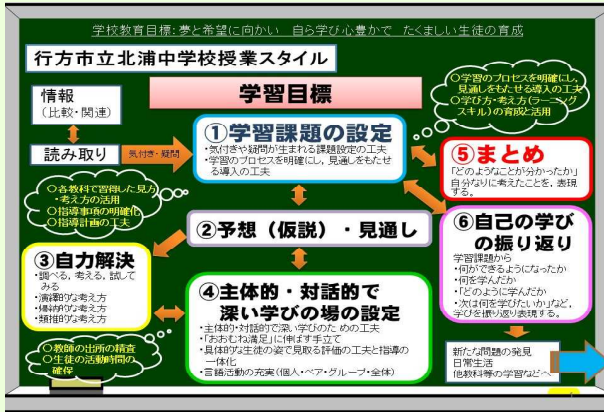


行方市教育基本テーマ
 自然と歴史に育まれ 未来に切り拓く 心豊かで たくましい人づくり
 - 郷土に誇りをもち ともに学び ともに育つ 心豊かで たくましい 子供の育成 -

行方市立北浦中学校教育目標
 夢と希望に向かい 自ら学び 心豊かで たくましい 生徒の育成

学力向上



資料1 北浦中学校授業スタイル

<p>◆学習課題を考える視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 持てるべき知識・技能 ・ 何を学ぶのか ・ どのように学ぶのか ・ 何を学ぶのか ・ 何を学ぶのか 	<p>◆予想(仮説)・見通しをもつ視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 何を学ぶのか ・ 何を学ぶのか ・ 何を学ぶのか ・ 何を学ぶのか ・ 何を学ぶのか
<p>◆自分で、みんなで考える視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 何を学ぶのか ・ 何を学ぶのか ・ 何を学ぶのか ・ 何を学ぶのか ・ 何を学ぶのか 	<p>◆考えを説明する視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 何を学ぶのか ・ 何を学ぶのか ・ 何を学ぶのか ・ 何を学ぶのか ・ 何を学ぶのか
<p>◆振り返る視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 何を学ぶのか ・ 何を学ぶのか ・ 何を学ぶのか ・ 何を学ぶのか ・ 何を学ぶのか 	

資料2 視点カード

豊かな心

自己有用感や自己肯定感を高め、学びに向かう集団づくりのために、居場所づくり・絆づくりを推進しています。

- 朝の会や帰りの会における生活目標の設定と振り返りの実施
- 「考え、議論する道徳」の授業実践
- 学級活動における集団での合意形成の推進
- キャリアノートを活用した計画的なキャリア形成の見通しと振り返りの実施
- 校外におけるボランティア活動の実践
- 「北浦中スタンダード」の実践

授業改善において大切にしてきたこと

【教育課程の工夫】

- 計画的な学び直しの時間の設定 (年間・単元末・学期始・中間・年度末)
- 思考力・判断力・表現力等を問う「深める学習」の実施 (週2回、英語科・国語科・数学科を中心に)

【単元構想】

- 目指す生徒の具体的な姿をもとにした単元構想
- 単元の目標の分析と単元を通した身に付けたい力の明確化
- 教科の系統性や生徒の実態の重視
- 単元導入前の学び直しの設定、単元末の評価後の補充の設定

【生徒の姿をもとに、評価を切り口とした校内研究の推進】

- 全体研究と個人研究(授業録画による各自の振り返り)
- 学習評価からの授業改善
- 学習指導案の協同立案、研究授業は一人2回以上実践
- 事後の研究協議と協議結果の共有

家庭学習の習慣化

- 家庭学習計画書の活用
- 個に応じた学習内容への支援
- 「北浦ゼミ」による学ぶ機会の設定
- ICTを活用した学習方法の工夫

研究主題

自らの考えを広げ深める生徒の育成
 - 「北浦中学校授業スタイル」に基づく指導と評価の工夫を通して -

P

- 学びのつながりの重視
- ・ 目標と実態に基づいて、どのような指導をするか
- ・ 基礎的・基本的な知識及び技能の習得や思考力・判断力・表現力等の育成を図るために、どのような指導をするか
- 実態調査から明らかになった課題を生かす指導
- ・ 原因がどこにあり、どのように指導を工夫改善すれば解決できるか

C

- 評価計画に基づく形成的評価の実施 (学期、単元、1単位時間の評価)
- 生徒の学習状況について、目標が達成できたと判断できる具体的な姿を明確にした評価の実施
- 単元末における総括的評価と発展的・補充的な学習の実施

D

北浦中学校授業スタイル

学びの主体である生徒自身が、「北浦中学校授業スタイル」(資料1)を理解して学ぶことができるようにするため、生徒の理解できる言葉を使い、学習のプロセスを示しています。生徒はどのように学ぶのか、何を学ぶのか、学びの地図を描き、授業に取り組むことができるようになってきています。

- 学習のプロセスと見通しの工夫
- ・ 学期始の「北浦中学校授業スタイル」に基づくガイダンスの実施(全教科)
- ・ 「なぜ学ぶのか、将来の夢や目標と今の学習がどうつながっていくのか」の重視
- ・ 「北浦中学校授業スタイル」の学習過程に基づく1時間の学習の流れの提示
- 基礎的・基本的な知識及び技能の習得
- ・ 単元導入前の学び直し(反復練習、習得・活用・探究による学習活動)
- ・ TTによる個に応じた指導の工夫
- 学び方・考え方(ラーニングスキル)の育成と活用
- 問題解決的な学習の流れの教室掲示
- 言語活動の充実
- ・ 視点カードの活用(資料2)
- 学びを振り返る時間の設定
- ・ 1単位時間や1単元の中における自らの学びの過程の振り返りの実施



R

- 中学校学習指導要領解説からの単元の目標設定や内容の分析
- 単元の系統性や既習事項の把握に基づく診断的評価の実施(客観的なテスト・普段の見取り等)
- 実態調査の結果に基づくつまづきの要因分析

A

- 評価を切り口とした校内研究の実施
- ルールブックや授業録画を活用した振り返り
- 抽出生徒の評価をもとにした指導の改善
- 指導計画の修正及び補充的な学習の実施・個別の手立ての立案

カリキュラム・マネジメント

課題を明確にし、達成目標と具体的な戦略を立てます。マネジメントサイクルの継続と改善を保つために、本格実践の前に試行期間を設けて、不具合の修正後に実践や評価へとつなげています。

健康・体力向上

学力向上の基盤である学びに向かう気力・体力を充実させ、自己管理能力を育成するために基本的な生活習慣の確立を図っています。

- 持久力及び瞬発力向上のための校内クロスカントリーコースの活用
- 保健体育科の授業における5分間ランニングや縄跳び運動の実施
- ライフスタイルチェックの実施
- 「早寝・早起き・3食たべよう運動」の推進
 - ・ 長期休業中を活用した作品募集
 - ・ 親子料理教室の実施
 - ・ 定期的な残量調査の実施と結果の視覚化
- 栄養教諭の専門性の活用
 - ・ 食に関する学級活動
 - ・ 部活動ごとの栄養指導
 - ・ 保護者への栄養アドバイスの実施
- 養護教諭による健康相談やミニ保健指導
- SNS等の利用について親子で考える学級活動の実施
- 学校保健委員会との連携

多様なニーズへの対応

生徒一人一人のニーズに応じた指導を充実することにより、「授業がよく分かる」と実感できる授業の実践を図っています。

- 特別支援教育の視点を生かした授業の実践
- 配慮を要する生徒に対して、個別の指導計画の立案と困難さに応じた指導内容・方法の工夫改善 (特別支援学級、通常学級、通級による指導)
- 専門家や専門機関等との連携、研修
 - ・ 茨城県立鹿島特別支援学校
 - ・ 臨床心理士
 - ・ 医師
 - ・ 茨城県教育研修センター 等